

# Book Fan Newsletter

発行：平成27年9月15日

編集：塩尻市立図書館

0263-53-3365

(Book Fan Newsletter 39号)

## 書店員が選んだ

### 今月のおすすめ本

『へいわってすてきだね』

安里 有生 / 詩 長谷川 義史 / 画 ブロンズ新社

沖縄県の平和記念資料館が募集した「平和のメッセージ」によせた小学校1年生の安里君の詩です。2013年6月に行われた「沖縄全戦没者追悼式」で安里君が朗読し、沖縄のおじい、おばあが涙を流したそうです。力強くまっすぐな願いと誓いの詩を多くの人に伝え、戦争と平和について語り合いたい一冊です。(神田堂 大塚さん)



『ハロウィーンってなあに？ (主婦の友はじめてブック おはなしシリーズ)』

クリステル・デモワノー / 作 中島 さおり / 訳 主婦の友社

日本で初めてのハロウィーン絵本。今では季節のイベントとしてみんなが知っているハロウィーンですが、意外に知っているようで知らない事も多いのでは。物語を読んでいるうちにハロウィーンの由来やかぼちゃのランタン、タルト、リバンベルの作り方、さらにはおばけなどの仮装のやり方まで知ることができます。ハロウィーンをもっと楽しむために読んでおきたい一冊です。(興文堂アイシティ店 中沢さん)



『生きるぼくら』

原田 マハ / 著 徳間書店

いじめから、ひきこもりとなった二十四歳の麻生人生。頼りの母が突然いなくなった。残されていたのは、年賀状の束。その中に記憶にある名前が一枚だけあった。蓼科の祖母マーサばあちゃんからのものだった。人生は四年ぶりに外へ、蓼科へ向かい、米づくりをはじめること。人の温もりに触れ、元気が出てきます。(中島書店 中島(順)さん)

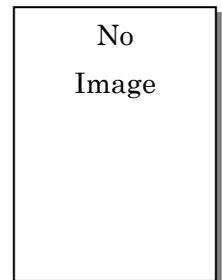


『オトナ時間。オンナ時間。』

ともさか りえ / 著 行正 り香 / 著 マガジンハウス

毎日連絡を取り合うような関係ではないけれど、お互いに癒やしのような存在であり、刺激でもある。「なんでも聞いてもらえる女友達がいる」というのは、実に心強いものです。忙しい毎日の中、うまく仕事をしていくための工夫、ほっとした時間をもつためのこだわり。心が通うオンナ友達“りえ&り香”のスタイルが詰まった一冊です。

(中島書店 中島(美)さん)



※画像のない本は、図書館に所蔵していない本です。

📖 この面に掲載されている本の紹介は、市内に本店のある4書店にご協力いただいています。📖

神田堂 (52-1283)

注文品の迅速な手配を心がけており、地元著者の自費出版本など地域とともに活動しております。

興文堂 (97-3949)

10月4日(日)午後3時に、講談社のおはなし隊がやってきます！

中島書店 (54-3968)

①「秋の夜長の手作りフェア」流行りの手作りパン、リハビリプリントのハンドメイド、編み物の本のフェアです。②「暮らしの器、道具、愛用品フェア」日常が少し豊かになる、美しい器やお気に入りの愛用品を紹介した本のフェアです。

丸文塩尻書店 (52-5515)

えんぱーくから3階渡り廊下を使って徒歩約1分！図書館で気に入った本、店頭にはない本は最短3日でお取り寄せいたします。

## 今月のおすすめ本

### 『消えるオス 昆虫の性をあやつる微生物の戦略 (DOJIN選書)』

陰山 大輔 / 著 化学同人

生物の性を決定する仕組みは実に様々で、まだ分かっていないことも多くあります。そんななか、昆虫における性の決定や生殖に、ある特定の細菌との共生が関わっていることが近年明らかになりました。このような生物の共生関係と生殖を軸に、遺伝子の不思議な働きを読み解く一冊です。  
(自然科学分野担当 大深)



### 『本屋さんで探す「明日のカルタ」 ことば絵本』

倉本 美津留 / 作 ヨシタケ シンスケ / 絵 主婦の友社

全国の書店員が、たくさんの本の知識の中から選んだ44の言葉たちをカルタ形式で紹介。なるほどと納得したり、おもわずクスッと笑ったりしてしまうような、明日を明るくしてくれるヒントが満載です。  
(児童書担当 中澤)



### 『半径3メートルの「行動観察」から大ヒットを生む方法 (SB新書)』

高橋 広嗣 / 著 SBクリエイティブ

「行動観察」は、「妖怪ウォッチ」や「ファブリーズ」などのヒットを生んだマーケティング手法で、多額の投資や大きな組織は不要です。冒頭で「あのヒットも行動観察が生んだの？」と興味をひいてから、理論や実務に話が進みます。厚い理論書や難しい論文を読むのは大変ですが、概要はこの新書で手軽に理解できます。  
(産業分野担当 原)



### 『おかあさんのいのり』

武鹿 悦子 / さく 江頭 路子 / え 岩崎書店

世界のあちこちで子どもたちの命が戦争により危険にさらされています。本書には、生まれたばかりの赤ちゃんを抱いた時のお母さんの思い、銃など握る事なく、平和な世の中で、神様がくださった時間を精一杯生きて輝いて欲しいという祈りが込められています。  
(児童書担当 横山)



### 『本の夢小さな夢の本』

田中 淑恵 / 著 芸術新聞社

立原道造、レイ・ブラッドベリ、ジャック・プレヴェール、源氏物語、お伽草紙、寺山修司とフォアレディーシリーズのエピソードとともに紹介される豆本の数々。装丁を仕事とする著者が、詩人や作家との交流や読書の記憶をもとに生み出した小さな本。様々な素材やしかけの紹介もあります。小さな本に興味を持つきっかけにどうぞ。  
(総記分野担当 吉田)



### 『武士はなぜ腹を切るのか 日本人は江戸から日本人になった』

山本 博文 / 著 幻冬舎

タイトルは少し重々しく感じられるかもしれませんが、「義理」や「金銭感覚」、「仇討」などをキーワードに、江戸時代に生きた人々の姿が分かりやすく解説されています。歴史好きの方はもちろん初心者の方も当時の活気や人情を感じることができ、日本の良さを再認識できます。  
(歴史分野担当 米山)

